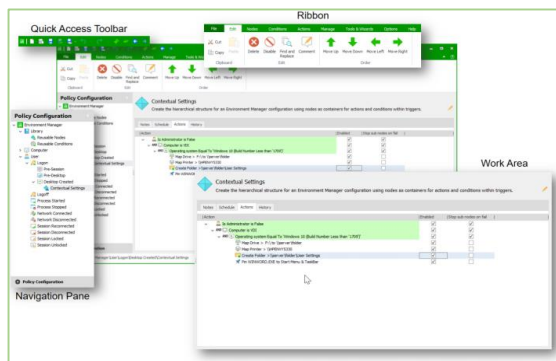


ivanti Environment Manager Policy

EN エンドユーザー目線のデスクトップコントロールの実現

Environment Manager Policyは、IT部門にWindowsデスクトップのあらゆるポリシーをコントロールできる機能を提供することで、IT管理を簡単にし、エンドユーザーの生産性を向上し、ユーザーエクスペリエンスを改善します。



エンドユーザーのPC環境を完全にコントロール

エンドユーザーの期待に応えることができ、ポリシーを試行できるデスクトップを管理、提供することは、常にIT部門を悩ませる頭痛の種となっています。エンドユーザーは、生産性をさらに向上するため、時間や場所、使用しているデバイスを問わず一貫性があり、反応が良く、パーソナライズされたエクスペリエンスを求めています。一方、ログオンスクリプトやグループポリシーといったユーザーワークスペースへの従来のアプローチは、複雑なだけでなく、維持するのが不可能だという現状があります。

Environment Manager Policy は、ログオンスクリプトとグループポリシーの代わりに、ユーザー環境に応じて動的にデスクトップを構成するマルチスレッドのポリシーを作成するシンプルでありながら機能が充実したコンソールを使用します。

時間のかかるログオンを排除します

ログオン時にユーザーのデスクトップ設定を構成するため長年にわたってログオンスクリプトが使用されてきましたが、ログオンスクリプトは設定の変更や更新によりすぐに肥大化し複雑になります。また、ログオン時に一斉にポリシーをアクティブディレクトリサーバーに問い合わせることでネットワーク負荷がかかります。結果的にログオンスクリプトの動作は遅いことが多く、デスクトップが立ち上がり、作業を始められるまで、ユーザーはかなりの時間待機することを余儀なくされています。

Environment Manager Policy マルチスレッドのポリシー設定エンジンは、ユーザー環境に関連のある構成のみを適用し、適用作業を速やかに実行し、例えばネットワークリソースが利用できないといった場合にログオンが妨げられないよう最適化されています。Environment Manager Policy の柔軟なルールベースのアプローチは、ログオン時間を短縮し、これまでのユーザーを苛立たせるエクスペリエンスを生産性を向上するユーザーエクスペリエンスへと変えます。

ユーザーは速やかにログオンできるだけでなく、ニーズに応じたデスクトップエクスペリエンスを体験できます。IT部門は管理とメンテナンスを軽減できるため、エージェントを展開し、コンソールをインストールし、ポリシーを適用するだけでよくなります。

ADグループポリシーの代わりに使用できます

グループポリシーは全社規模のポリシー反映には適していますが、ユーザーのPC環境を詳細な管理で利用する場合、IT部門には何百、何千ものグループポリシーを設定し、管理することが強いられます。またグループポリシーはシングルスレッドのため、グループポリシーの数が増えれば、ログオンにかかる時間が長くなります。その結果、ユーザーの不満が募り、ユーザーとIT部門両方の生産性が低下します。

Environment Manager Policy を使用すれば、IT部門は何百ものグループポリシーを集約することができます。既存のグループポリシーをインポートできるため、グループポリシーをスムーズに廃止できます。また、広範な検索機能とフィルター機能が装備されているため、継続的なメンテナンスも簡単です。

PC配布後のポリシー変更、機能更新に伴うポリシー変更に対応

従来のOSでは、配布後のPCはOSの機能更新は1度行うか行わない作業のため、ポリシー変更を行う作業は行われませんでした。WaaSという概念がWindows10より導入され、進化し続けるOSとなりました。エンドユーザーは機能更新ごとに新機能への対応やMicrosoft推奨設定値への変更が悩まされます。ユーザーの不満を解消するために、IT部門では、ユーザーエクスペリエンスを変更せずに機能更新への実施を要求されるようになりました。

Environment Manager Policy では、エンドユーザーのデスクトップ属性の組み合わせでターゲットポリシーの設定を可能にします。OSごとにポリシーを設定することで、同一PCで機能更新を行っても、変わらないユーザーエクスペリエンスが可能となります。

PC切り替えに伴うユーザーのカスタマイズ設定は不要

ユーザーがサポート切れや故障等で長年使用していたPCを手放さなければならない状況は発生します。社内ポリシーが反映された新規PCが手元に届いたあと、ユーザーはバックアップデータよりデータ移行を行う作業が発生し、丸1日データ移行作業やカスタマイズ設定に費やすこととなります。

Environment Manager Policy のポリシーのエクスポートインポート機能により、負担の少ない移行作業を実現します。

エンドユーザーは届いたPCに初回ログインを行うのみで個人データのバックアップデータからインポート、今まで設定していたカスタマイズ設定を反映させます。配布後のPCでも今までと変わらないユーザーエクスペリエンスが可能となります。

マスターイメージ作成時の担当者負荷削減を実現

Windows10以前のOSでは、Microsoft社のサポート期間が10年と長く、一度作成したPCマスターイメージを再作成する作業は多くありませんでした。

Windows10になり、最も需要のあるPro Editionで1年に1度イメージの更新作業が発生するようになりました。また各部門ごとにイメージ作成を要求されることもあり、マスターイメージ作成が多くの工数をかける作業となっています。

Environment Manager Policy ではユーザーの属性ごとにポリシー設定を登録しておくことが可能です。そのため、マスターイメージには社内ポリシーのみを設定することで、工数の削減やマスターイメージの数を減らすことが可能です。また、ユーザーが転属で切り替わった際に部署ごとのポリシーを反映することで、前の部署で使用していたPCをそのまま使い続けるようなことも可能です。

IT部門もユーザーもメリットを得られます

ユーザーはスピーディーなログオンと、ユーザーの状況に合わせて自動的に設定を行う応答型デスクトップを利用できます。IT部門はデスクトップのあらゆる側面を管理できます。双方にとってメリットのある環境を実現できます。



マルチスレッドエンジン

複数のポリシーや操作を同時に処理するため、ユーザーの待ち時間を無くす



ユーザー環境による設定

あらゆるユーザーとデスクトップ属性の組み合わせでターゲットポリシーの設定を可能に



移行が簡単

グループポリシーの使用を簡単に終了するため既存のGPOをインポート



メンテナンスを軽減

広範な検索&フィルター機能で継続的なメンテナンスを軽減



グラフィカルコンソール

使いやすいグラフィカルコンソールが、考えられるデスクトップの操作と設定をすべてカバー。



インフラが不要

インストールや実行に追加のサーバーやデータベースインフラストラクチャは不要



ログオンの処理を軽減

不要な操作をログオン処理から取り除き、必要な場合に要求に応じて適用します。



WaaSへの対応

Windows10 機能更新に伴う新機能やMicrosoft推奨設定を社内ポリシーに再変更します。



移行作業

環境属性の組み合わせにより、エンドユーザーへの負担の少ないデータ移行を可能にします。

【お問合せ】

株式会社ジャパンコンピューターサービス

担当: Ivanti セールス

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 1 - 1 1 産報佐久間ビル7階

TEL:03-5298-8868 FAX: 03-5298-8874

E-Mail: ivanti_sales@japacom.co.jp